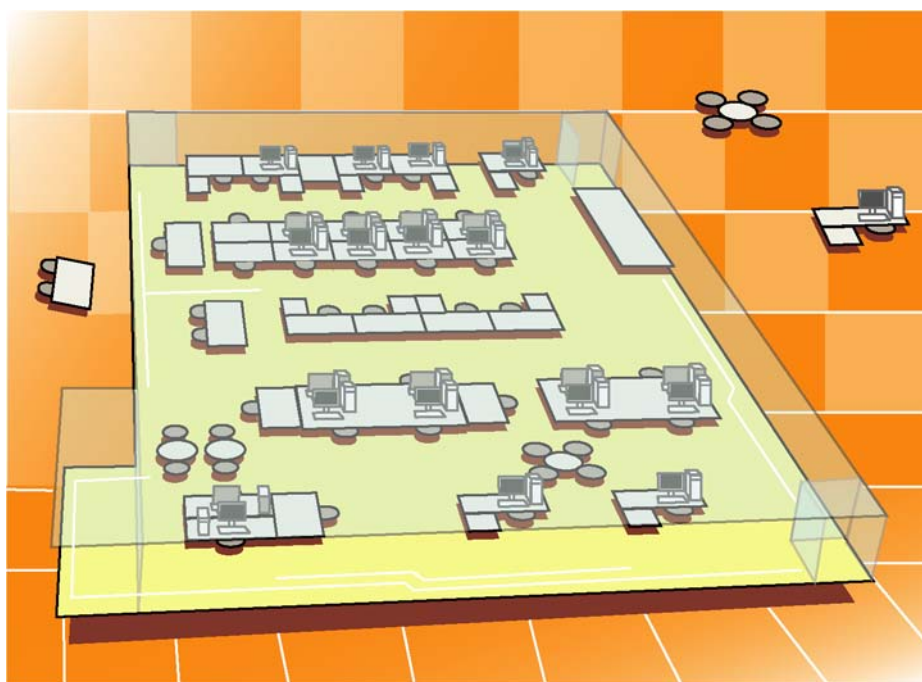


# Zaseki 7

インストールマニュアル  
セットアップガイド

Ver.2.8



株式会社ソフトクリエイト

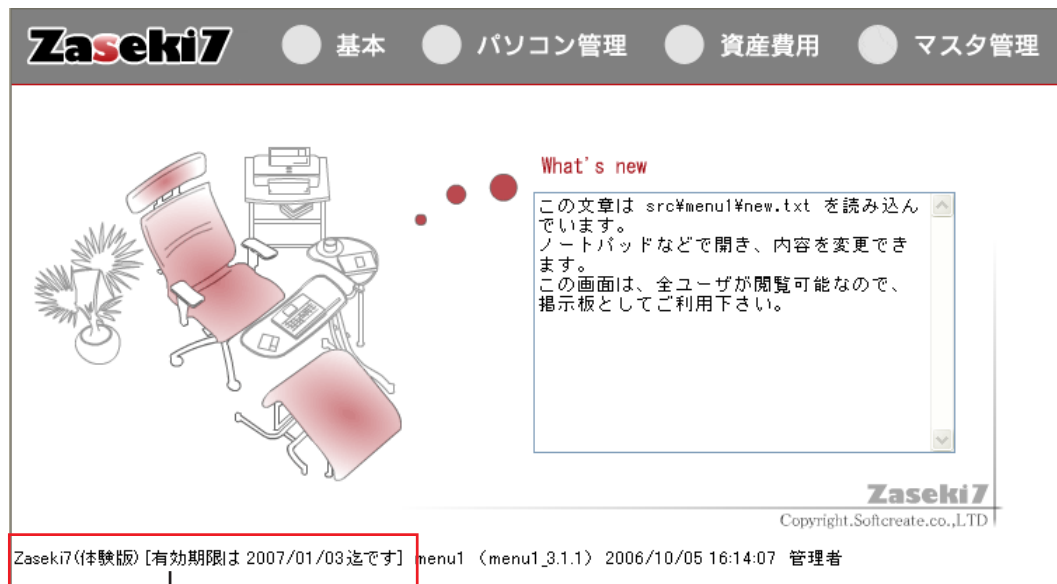
---

## 目次

はじめに .....	3
1. インストールを始める前に .....	4
A 確認事項 .....	4
B IISのインストール手順 .....	5
C Windows Server 2003の場合 .....	6
2. Zaseki7のインストール .....	8
A インストール手順 .....	8
B Windows Server 2003の場合（インストール後の設定） .....	13
C インストール後の確認 .....	15
D データのバックアップ設定 .....	16
3. アンインストール .....	19
A Zaseki7のアンインストール .....	19
B SQL Server 2005 Express Editionのアンインストール .....	20
C 仮想ディレクトリの削除 .....	21
D アンインストール完了後 .....	21
E バックアップ設定の解除 .....	22
F 再インストールについて .....	22
4. 困ったときは .....	23
A ログイン画面が開かない .....	23
B 図面や組織階層定義画面が開かない .....	24

# はじめに

Zaseki7(体験版)の試用有効期間は、インストール後90日間となっております。有効期限を過ぎ、ライセンス登録が行われない場合は、ログインできなくなります。



Zaseki7体験版の有効期限は各画面に表示されますのでご確認ください。

有効期限を過ぎ、引き続きご利用になる場合は、製品版をご購入いただく必要があります。  
お申し込み・お問合せはホームページをご覧ください。

Zaseki7お問合せ先URL:<http://www.zaseki7.jp/contact/contact1.html>

## ➡ 参照

### マニュアル

各機能・画面の説明及び操作方法につきましては、同梱のマニュアルをお読みください。

マニュアルの場所 :インストール先ディレクトリ¥Zaseki7¥src¥manual

# 1. インストールを始める前に

## A 確認事項

以下の注意事項をよくお読みのうえ、インストールを行ってください。

### 動作環境

#### サーバー機

#### 日本語版 オペレーティングシステム

Windows 2000 Server SP4

Windows Server 2003 SP1・SP2 Windows Server 2003 R2 SP1・SP2

Windows XP Professional SP2

64bit版OSには対応していません。

#### WEB機能

Internet Information Service(IIS)

Internet Explorer 6.0 SP1 以上

#### データベース

Microsoft SQL Server 2005 Express Edition SP2 1(以下SQL Server Express)

#### コンピュータ本体

Pentium II 450 MHz 相当以上のプロセッサを搭載したコンピュータ

(Pentium III 600 MHz 相当以上を推奨)

#### メモリ

オペレーティングシステムが動作するサイズ(256MB以上を推奨)

#### ハードディスク

システム容量としてCドライブに1024MB以上の空き容量が必要。

1 SQL Server Expressの制約から、4GB以上のデータ領域を確保できません。

**Microsoft SQL Server 製品を他システムと共有すると、動作保障ができません。共有する場合はお客様の責任においてご利用ください。**

#### 使用しているActiveXコントロール

図面作成やパソコン情報の割り当てなど、一部のページでActiveXコントロールを使用しています。ご利用の際には、ブラウザのActiveXを利用できる設定にしてください。

・ActiveXコントロールとプラグイン - ActiveXコントロールとプラグインの実行を有効に設定する

・ActiveXコントロールとプラグイン - スクリプトを実行しても安全だとマークされているActiveXコントロールの

スクリプト実行を有効に設定する

・ActiveXコントロールとプラグイン - 署名済ActiveXコントロールのダウンロードを有効に設定する

#### インストール時の注意

インストールする場合は、Administrator権限をもつユーザーでログインし、作業を行ってください。

インストール作業を始める前に、全てのWindowsプログラムを終了させ、アンチウイルス製品等は停止することを推奨します。

**「全角文字を含むフォルダからのインストーラの実行」 及び 「全角文字を含むフォルダへのインストール」 は実行できません。**

**また、パス名の一部に全角文字が含まれている場合も、インストーラを実行できません。**

### ! 注意事項

#### Windows Server 2003の場合

ActiveServerPagesをインストールする必要があります。詳細はP.6をご参照ください。

### ! 注意事項

#### 仮想ディレクトリの作成

インストーラーがIISの設定をする際、「既定のWebサイト」の下に「Zaseki7」の仮想ディレクトリを作成しています。もし「既定のWebサイト」を使用せず、独自の「Webサイト」を使用している場合は、Zaseki7の画面を表示できません。

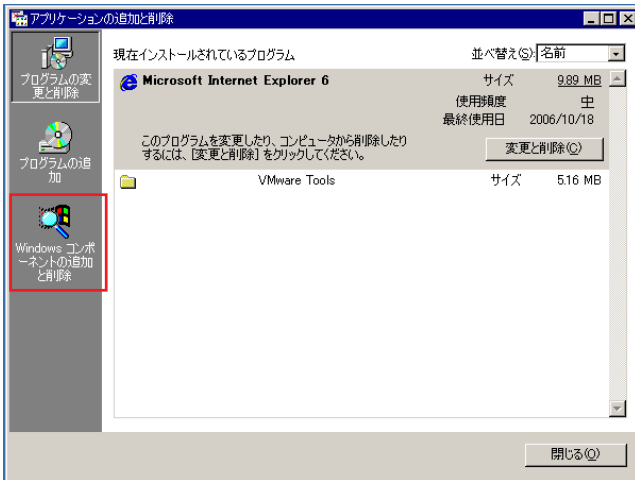
## B IISのインストール手順

IISのインストールの手順は以下の通りです。

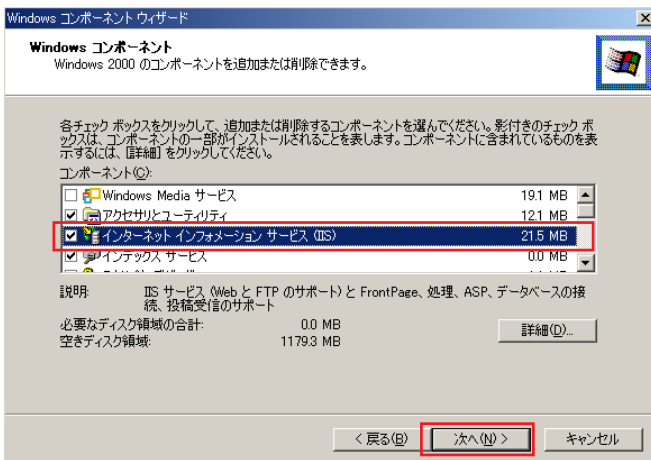
Windows Server 2000 Service Pack 4 以上の場合

コントロールパネル「プログラムの追加と削除」または「アプリケーションの追加と削除」を開きます。

「Windowsコンポーネントの追加と削除」をクリックします。



「Windowsコンポーネントウィザード」が起動するので、「インターネットインフォメーションサービス ( I I S )」にチェックをして、[次へ]をクリックします。



[完了]をクリックします。



### メモ

#### IISのインストール

IISをインストールする際、OSのCD-ROMが必要になる場合があります。

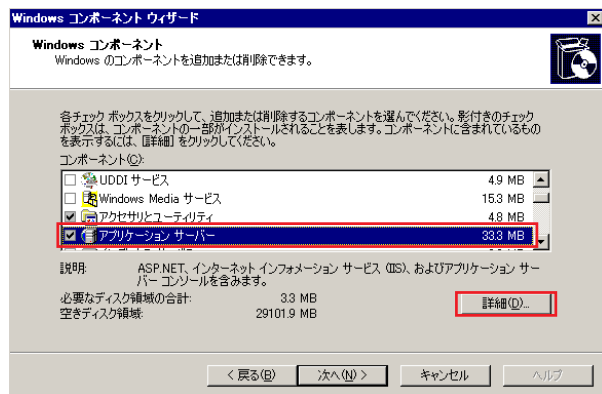
## C Windows Server 2003の場合

Windows Server 2003 の場合は、Zaseki7 をインストールする前に必ずこの設定を行ってください。

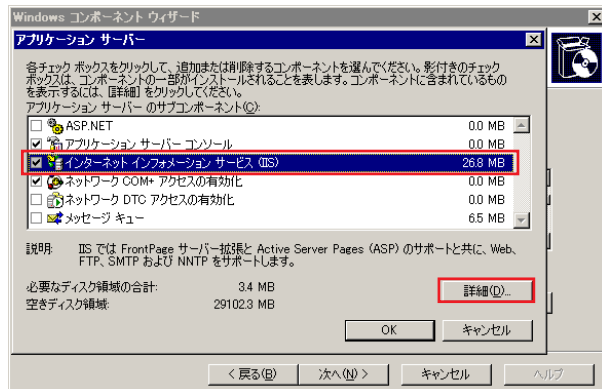
### Active Server Pagesのインストール手順

コントロールパネル 「プログラムの追加と削除」を開きます。  
「Windowsコンポーネントの追加と削除」をクリックします。

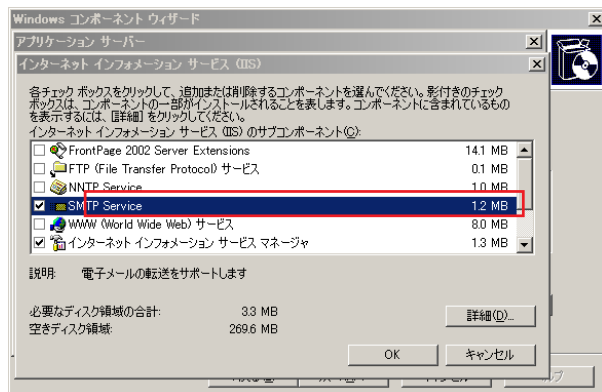
「Windowsコンポーネントウィザード」が起動するので、「アプリケーションサーバー」を選択し、[詳細]をクリックします。



「インターネットインフォメーションサービス( I I S )」を選択し[詳細]をクリックします。



「SMTP Service」にチェックします。

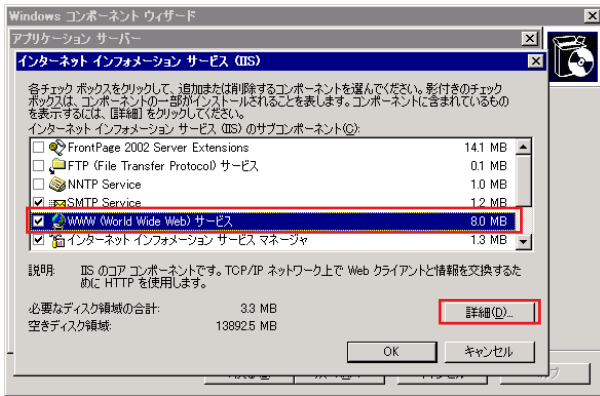


### メモ

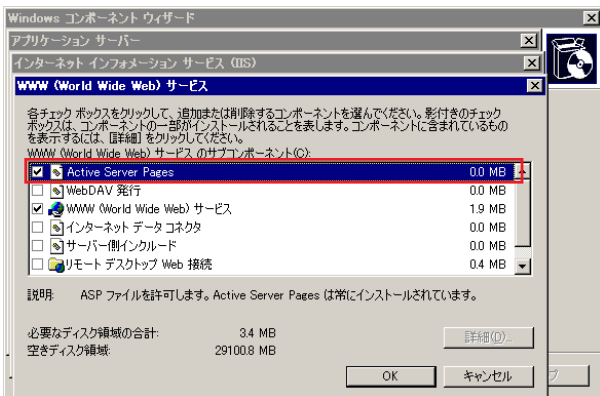
#### Active Server Pages

Active Server Pagesをインストールする際、OSのCD-ROMが必要になります。あらかじめご用意ください。

「WWW(World Wide Web)サービス」を選択し、[詳細]をクリックします。



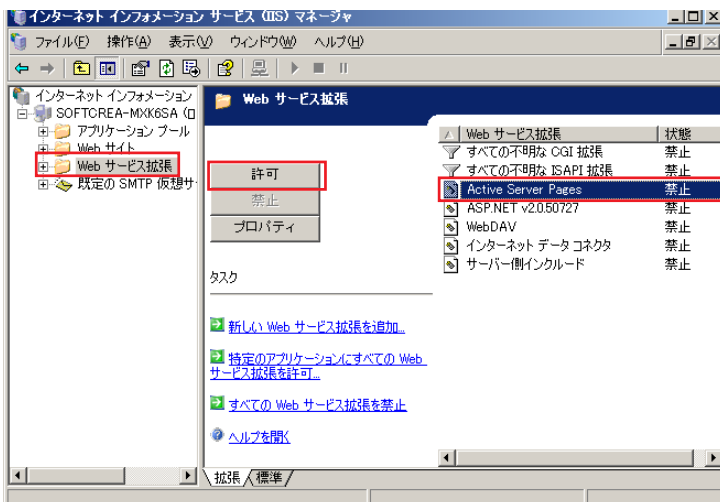
「Active Server Pages」にチェックします。「Windowsコンポーネントウィザード」に戻るまで[OK]をクリックしたあと、「次へ」をクリックするとインストールを開始します。



### Active Server Pagesの「許可」設定

管理ツール「インターネット インフォメーションサービス(IIS)マネージャ」を開きます。

「Webサービス拡張」の「Active Server Pages」の状態が「許可」になっていることを確認してください。下図のように「禁止」になっていた場合は、「Active Server Pages」を選択して、「許可」ボタンをクリックしてください。



## 2. Zaseki7 のインストール

### A インストール手順

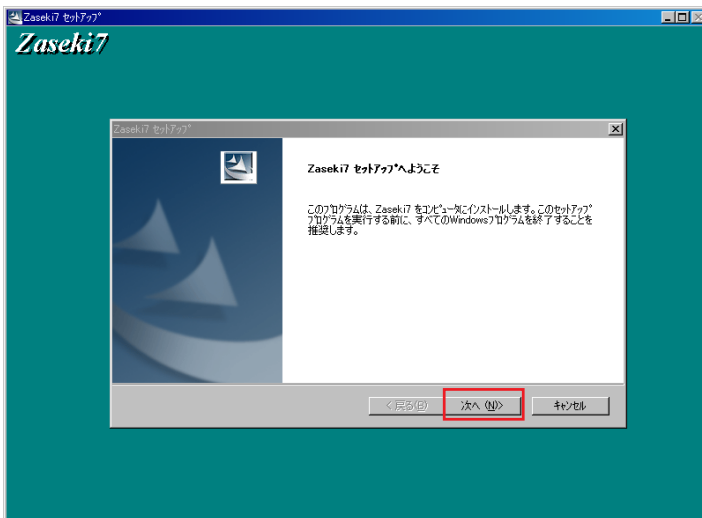
#### CDからインストールする場合

CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動でインストーラーが起動し、「Zaseki7 セットアップへようこそ」ダイアログが表示されます。

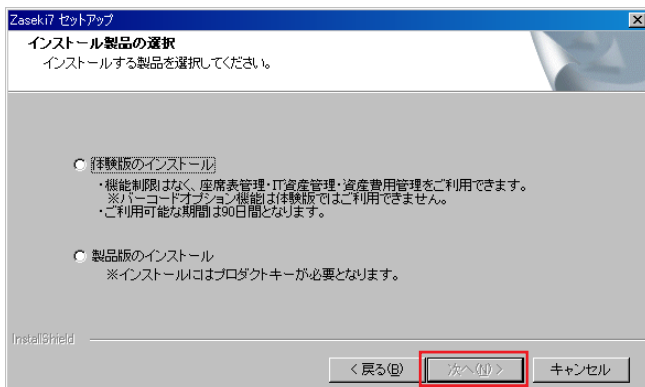
パソコンによって、自動起動しない場合がありますので、そのような時は、マイコンピュータ「CD-ROM」「Zaseki7-2.8.X.exe」をダブルクリックして起動してください。

#### インストールの手順

「Zaseki7-2.8.X.exe」をダブルクリックします。



お手元にプロダクトキー(使用許諾契約書に記載)がある場合は、「製品版のインストール」を選択してください。お手元にない場合は、「体験版のインストール」を選択してください。どちらかを選択し[次へ]をクリックします。



#### ! 注意事項

##### IISについて

インストーラー起動後、下のようなメッセージが表示されることがあります。これはインターネットインフォメーションサービス(IIS)がインストールされていない場合です。[OK]をクリックし、セットアップを修了してからIISのインストールを行ってください。

P.5を参照してください。



#### 👉 ポイント

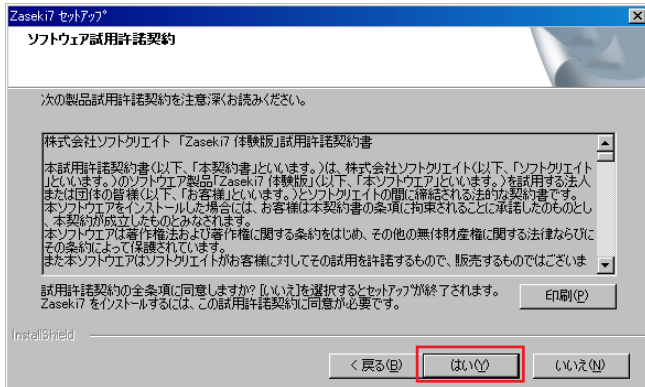
##### インストール

「Zaseki7-2.8.X.exe」を実行することによってインストールされるものは以下の通りです。

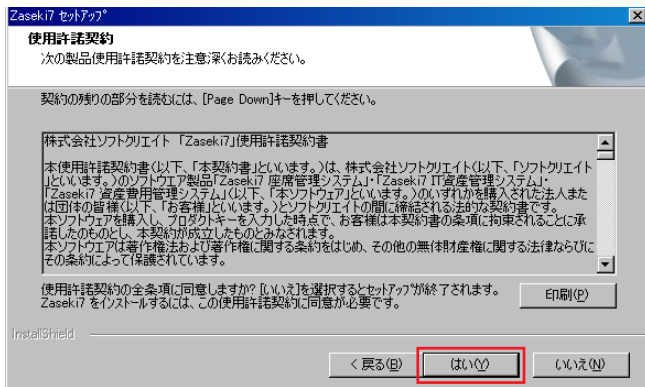
Zaseki7のプログラム  
Windows Installer3.1  
(KB893803)  
Microsoft .NET Framework 2.0  
SQL Server Express SP2  
MDAC 2.8 SP1(削除できません)

「使用許諾契約」をお読みになり、同意する場合は[はい]をクリックしてください。

### 体験版をインストールする場合

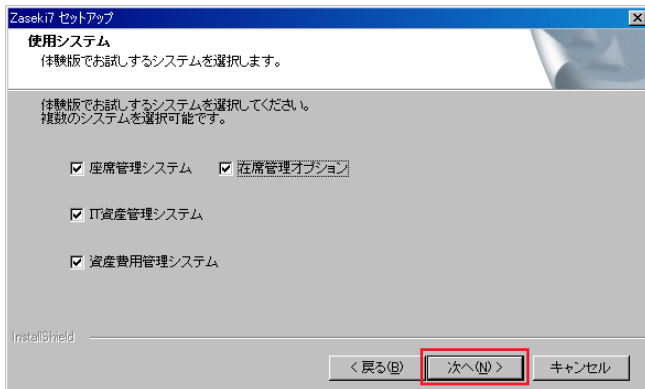


### 製品版をインストールする場合



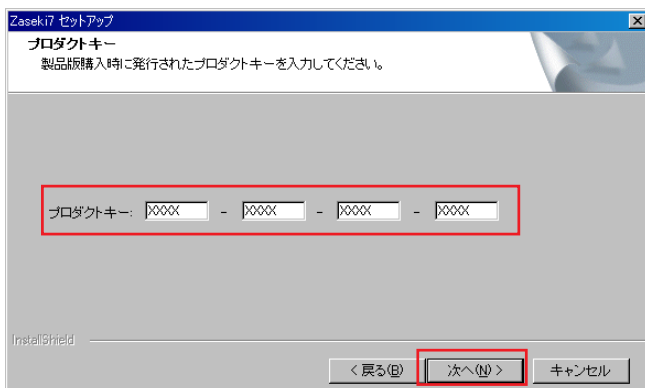
### 体験版をインストールする場合

お試し頂くシステムにチェックを入れて[次へ]をクリックします。



### 製品版をインストールする場合

送付されました「使用許諾契約書」に記載されている「プロダクトキー」を入力して[次へ]をクリックします。



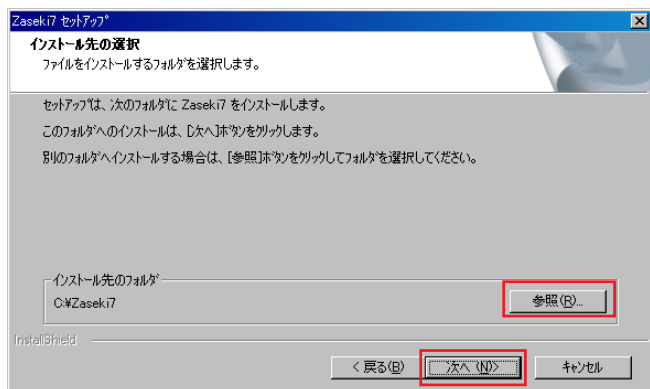
**メモ**

**プロダクトキーの変更**

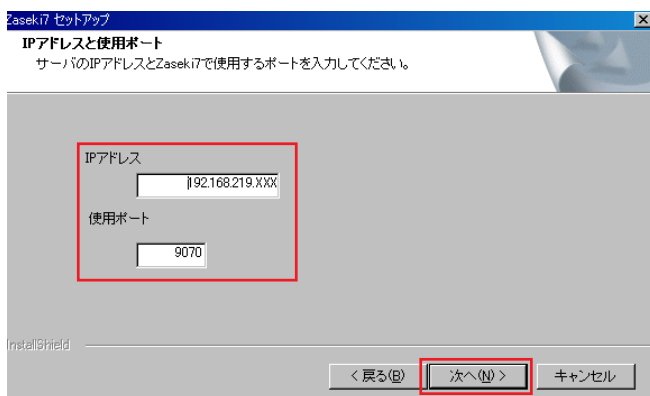
インストール後にプロダクトキーを変更する場合は下記のファイルを開き修正できます。

C:\Zaseki7\config\config.ini

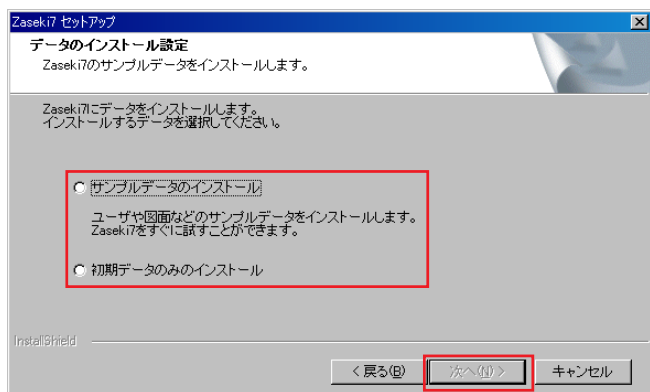
Zaseki7をインストールするフォルダを選択します。初期設定は「C:\Zaseki7」ですので、そのままであれば[次へ]をクリックします。別の場所にインストールしたい場合は、[参照]をクリックし、正しい場所を選択して変更してください。



Zaseki7をインストールするサーバーのIPアドレスと、Zaseki7で使用するポートが表示されるので、問題なければ[次へ]をクリックします。使用するポートの初期設定は「9070」ですが、変更する場合は正しいポート番号を設定してください。



システムと一緒にインストールするデータの種類を選択して[次へ]をクリックします。



## ! 注意事項

### インストール先の選択

インストール先のフォルダ名に「全角文字を含むフォルダ」を選択すると、正しくインストールを完了することができません。必ず、フォルダ名が半角文字のみで構成されたフォルダを選択してください。

## ! 注意事項

### IPアドレス

複数のネットワークカードを利用しているサーバーの場合は、表示されているIPアドレスがZaseki7で使用しても問題ないか、ネットワーク管理者に確認してください。表示されない場合は、正しいIPアドレスを入力してください。

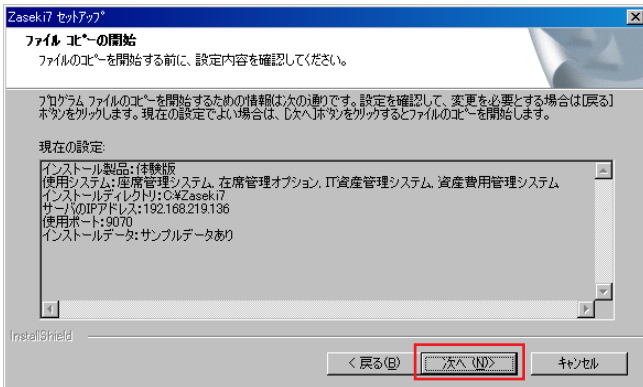
## 📖 メモ

### データの種類

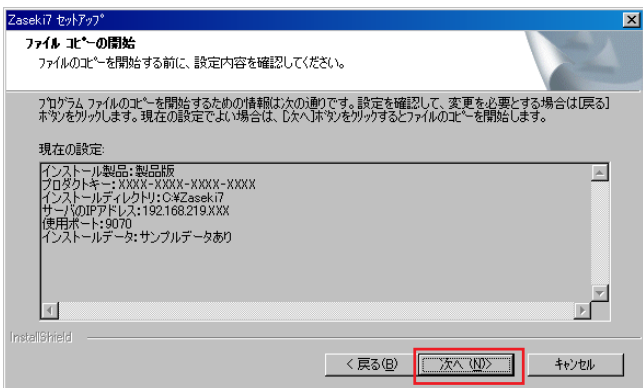
**サンプルデータ**  
まず、実データを登録する前に、機能を見てみたいという場合は、サンプルデータをインストールしてください。  
あとで、初期データの状態にできます。  
**初期データ**  
Zaseki7システムで必要とする基本データのみをインストールします。

現在の設定が正しいことを確認して[次へ]をクリックします。自動的にインストールが行われます。

### 体験版をインストールする場合



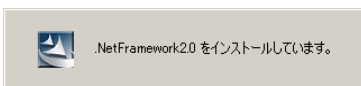
### 製品版をインストールする場合



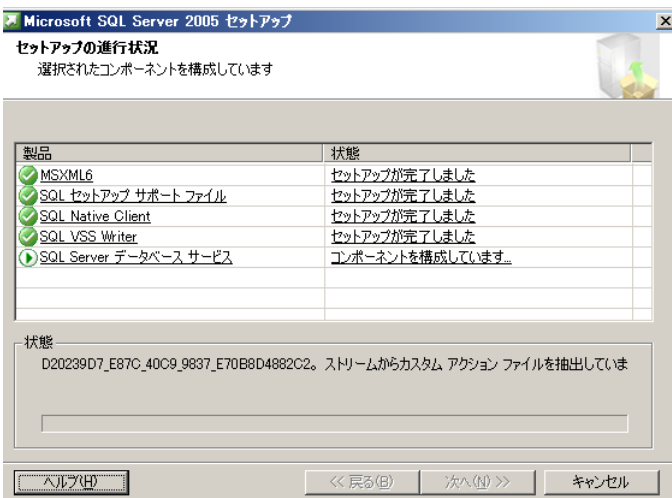
Windows Installer3.1 (KB893803)のインストールします。  
すでにインストールされている場合は、この画面は表示されません。



Microsoft .NET Framework 2.0のインストールします。  
すでにインストールされている場合は、この画面は表示されません。  
(完了まで5分程度時間がかかります。)

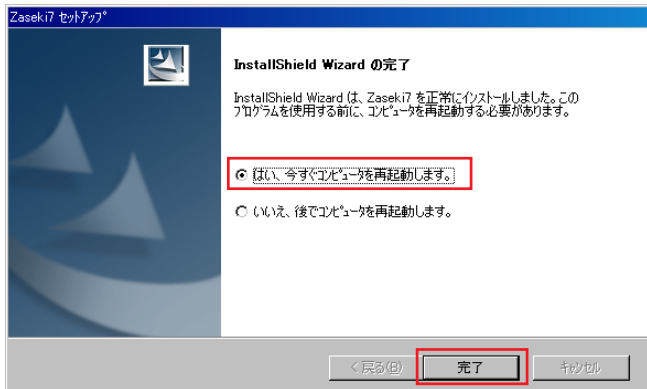


Microsoft SQL Server 2005 をインストールします。そのまましばらくお待ちください。



「SQL Serverの起動」「データベースの作成」「ZServerLaunchのインストール」「zcom.dllの登録」を自動で行います。

インストールが終了すると下のようなダイアログが表示されます。[完了]をクリックしてコンピュータを再起動します。



#### Windows Server 2003 の場合

Windows Server 2003 の場合は、再起動後「アプリケーション構成の設定」と「ZService.exeのプロパティ値変更」を行ってください。設定を行うまで、管理者用画面や一般ユーザー用画面を表示することができません。  
設定方法につきましては、次のページを参照してください。

#### ! 注意事項

Windows Server 2003の場合  
Zaseki7にログインする前に必ず  
左記の設定を行ってください。

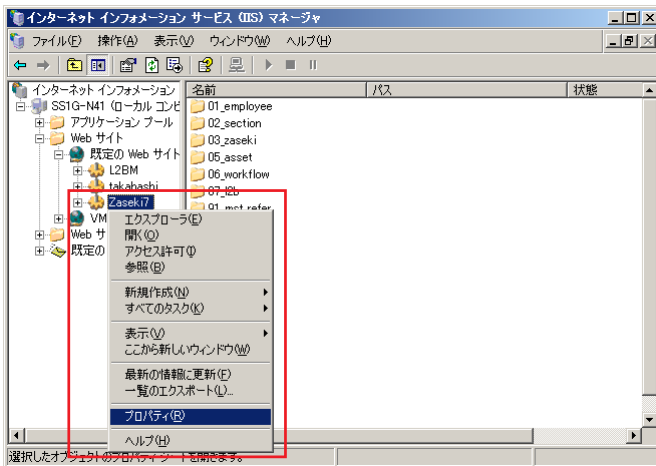
## B Windows Server 2003の場合（インストール後の設定）

Windows Server 2003の場合は、コンピュータの再起動後にこの設定を行ってください。

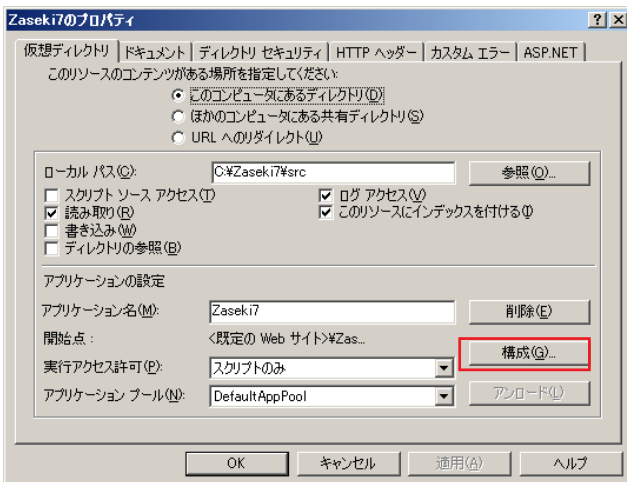
### アプリケーション構成の設定

コントロールパネル 管理ツール 「インターネット インフォメーションサービス(IIS)マネージャ」を開きます。

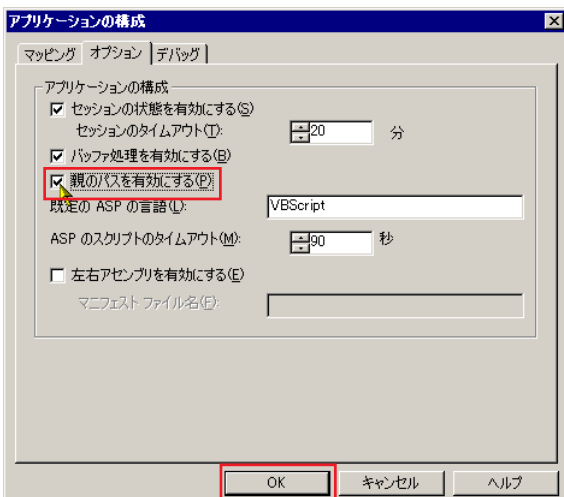
「Zaseki7」を右クリックして「プロパティ」を開きます。



[構成]をクリックします。



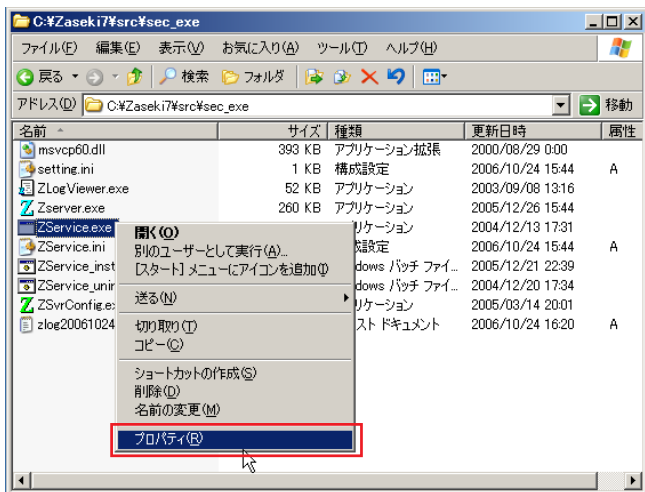
「オプションタブ」をクリックし、「親のパスを有効にする」をチェックします。  
[OK]をクリックし、すべてのダイアログを閉じます。



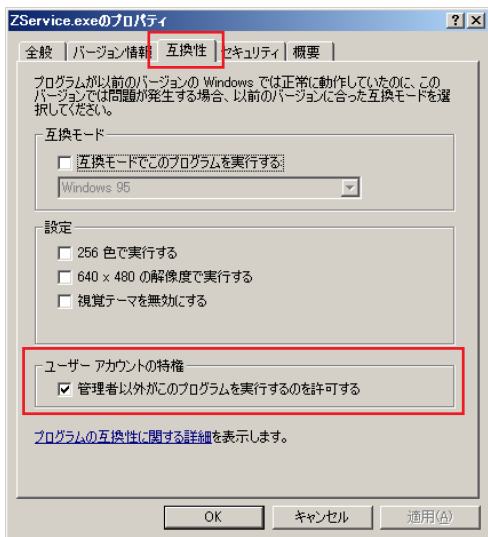
Windows Server 2003の場合は、コンピュータの再起動後にこの設定を行ってください。

### ZService.exeのプロパティ値変更

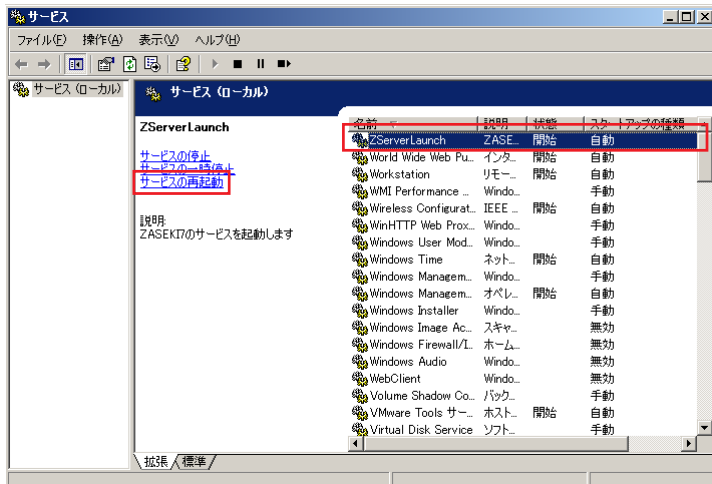
インストール先ディレクトリ¥Zaseki7¥src¥sec\_exe¥ZService.exeを右クリックして、プロパティを開きます。



「互換性」タブの「ユーザーアカウントの特権」フレーム内「管理者以外にこのプログラムを実行するのを許可する」をチェックし、[適用] [OK]をクリックします。



管理ツール サービスを開きます。「ZServerLaunch」を選択して、「サービスの再起動」をクリックします。



**ヒント**

サービスの動作確認

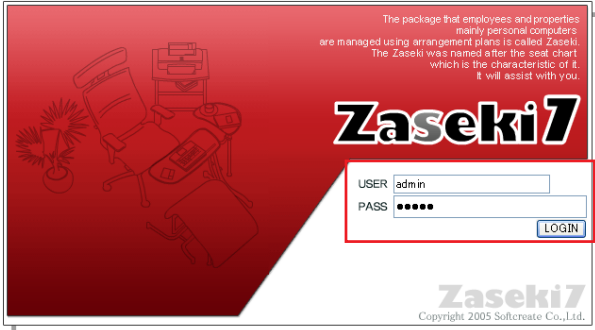
「ZService.exe」「ZServer.exe」というサービスが動作していることを、タスクマネージャーで確認してください。

サービスの再起動を行ってから起動するまで3分ほどかかります。

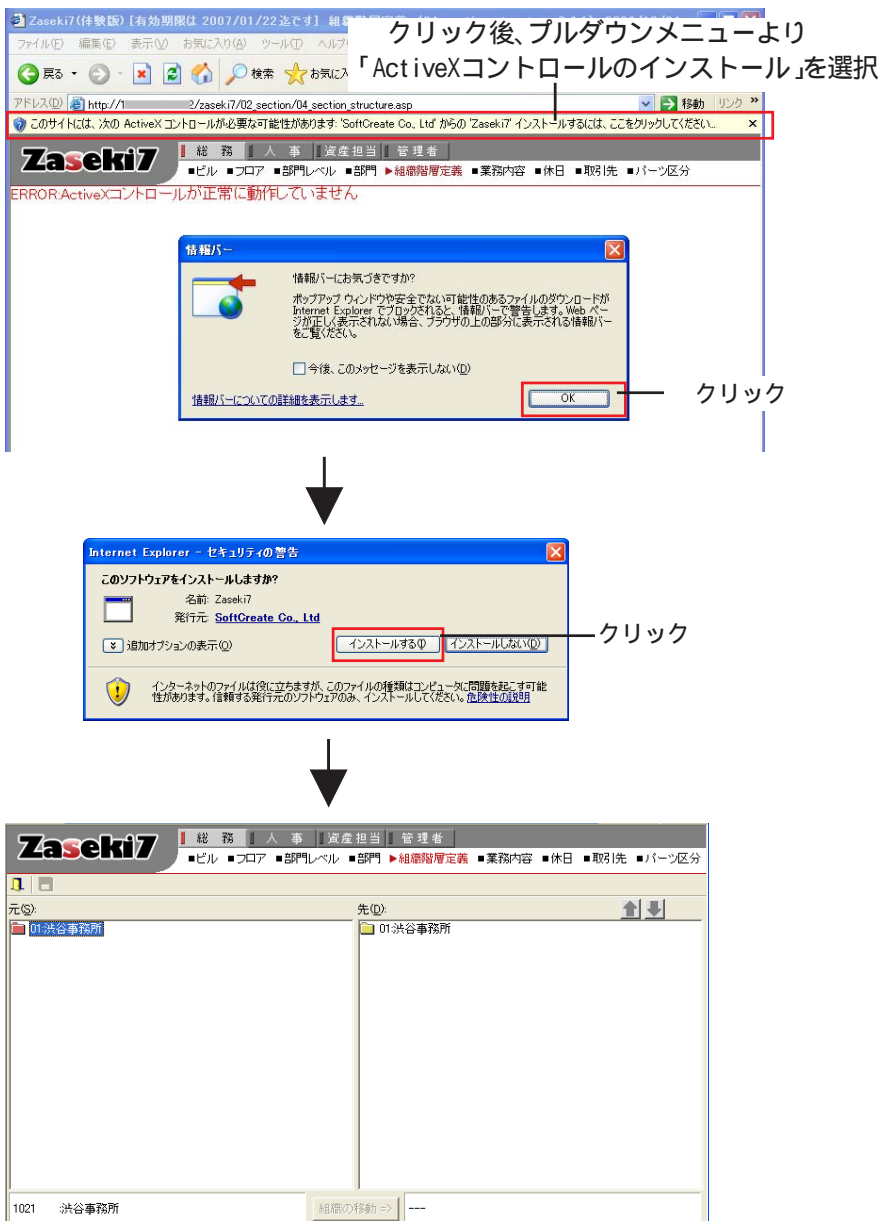
## C インストール後の確認

コンピュータの再起動後、クライアントパソコンよりブラウザを起動し、下記 URL・ユーザー ID・初期パスワードを入力して Zaseki7 の動作を確認します。

URL : http://**サーバーのIPアドレス**/Zaseki7/menu1/  
USER : admin  
PASS : admin



ログイン後「共通管理」「総務」「組織階層定義」を開き、サーバーに接続できることを確認します。画面を開くと ActiveX コントロールのインストールを求められますので、画面の指示に従ってインストールしてください。



### ! 注意事項

#### 初期パスワード

運用を開始する前に、必ず、初期パスワードを変更してください。

### ? ヒント

#### 組織階層定義画面が開かない

情報バーが表示されず、「ERROR:ActiveXコントロールが正常に動作していません」と表示された場合、インストール時に入力した IP アドレスが間違っている可能性があります。一度、Zaseki7 をアンインストールした後、再インストールしてください。

情報バーに、セキュリティ設定により ActiveX コントロールの使用が許可されていないという表示がされ、

「ERROR:ActiveXコントロールが正常に動作していません」と表示された場合、ブラウザの ActiveX コントロールを利用できる設定にしてください。

ブラウザの設定内容は「1. インストールを始める前の前提条件」を参照してください。

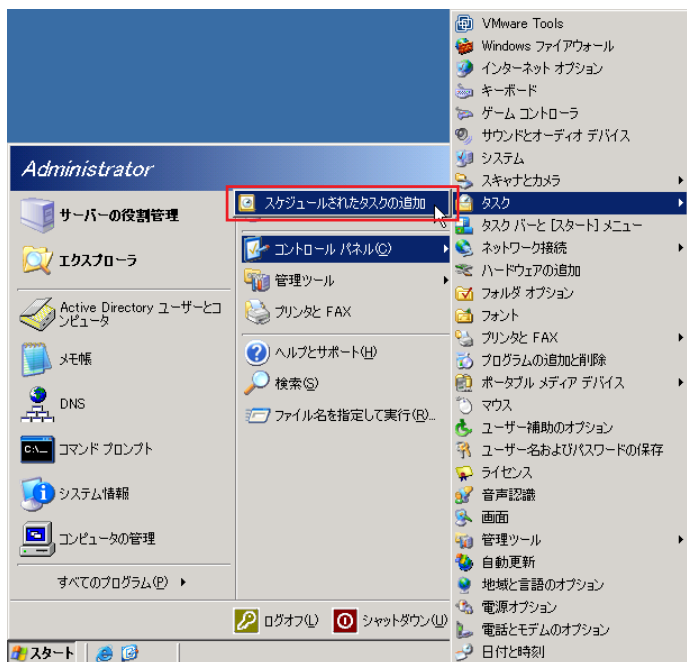
## D データのバックアップ設定

バックアップとは、データを保存しておくことです。サーバ本体が故障したときなどに、その保存しておいたデータを新しいサーバに移すことで、またシステムを使用できるようになります。(ただし、保存時の状態まで戻ります。)

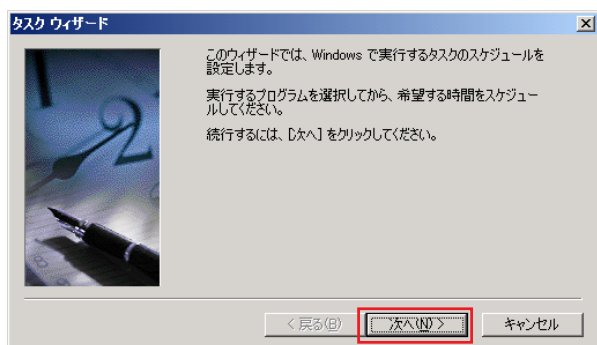
**バックアップ設定は必ず行ってください。**

### データベースのバックアップ

コントロールパネル タスク 「スケジュールされたタスクの追加」をダブルクリックすると「タスクウィザード」が起動します。



[次へ]をクリックします。



[参照]をクリックし、インストール先ディレクトリ ¥ Zaseki7 ¥ data ¥ backup¥backup\_task.bat を選択して[開く]をクリックします。



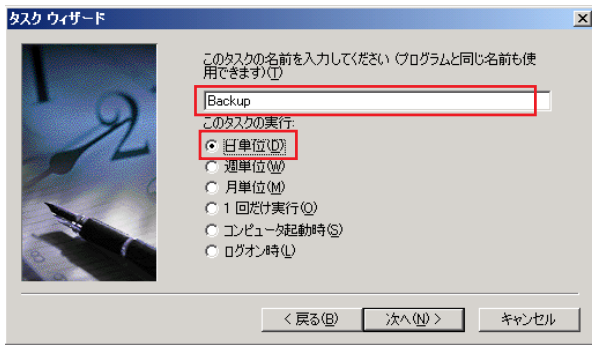
### メモ

#### バックアップ以外の処理

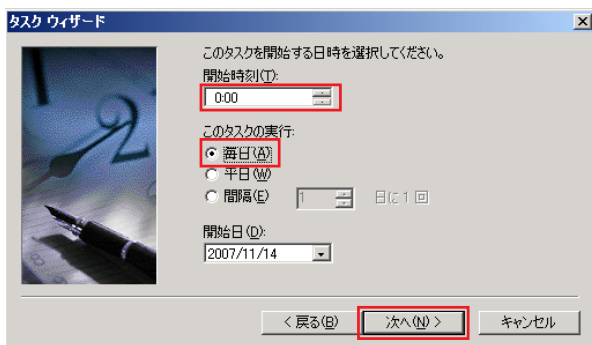
バックアップを実行するときに、「資産費用管理システム」をご利用頂く場合は次の処理も一緒に行います。

・「資産変更履歴設定」の変更履歴保存日数を経過した資産変更履歴情報を削除

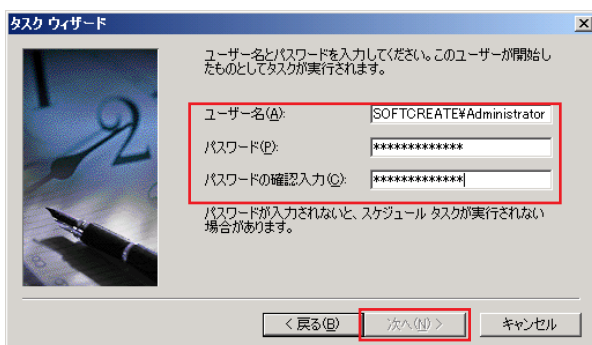
タスクの名前を入力して「日単位」をチェックします。



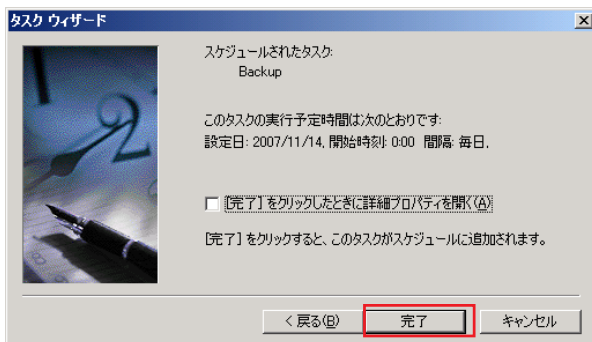
開始時刻を入力し、タスクの実行を選択、開始日を入力して「次へ」をクリックします。



ユーザー名に、OSのAdministrator権限のあるユーザーが設定されていることを確認し、そのユーザーのパスワードを入力して「次へ」をクリックします。



「完了」をクリックして終了します。



以上で、登録した開始日から毎日、登録した時刻に自動でバックアップを行う設定が完了しました。翌日などに、バックアップが行われているか確認してください。インストール先ディレクトリ¥Zaseki7¥data¥backup¥Zaseki7\_1.bkの更新日時が、バックアップが行われた最新の日時になっていることを確認してください。

## ヒント

### タスクの登録

#### 開始時刻

サーバーが起動していて、業務に差し支えない時刻を設定してください。

#### このタスクの実行

「毎日」にチェックしてください。

#### 開始日

バックアップを開始する日を入力してください。

## 注意事項

### ユーザー名とパスワード

ここで設定するユーザー名とパスワードは、OSのAdministrator権限のあるユーザーとそのパスワードです。正しく登録しないと、新しいタスクが作成されても、実行されません。

## メモ

### バックアップファイル

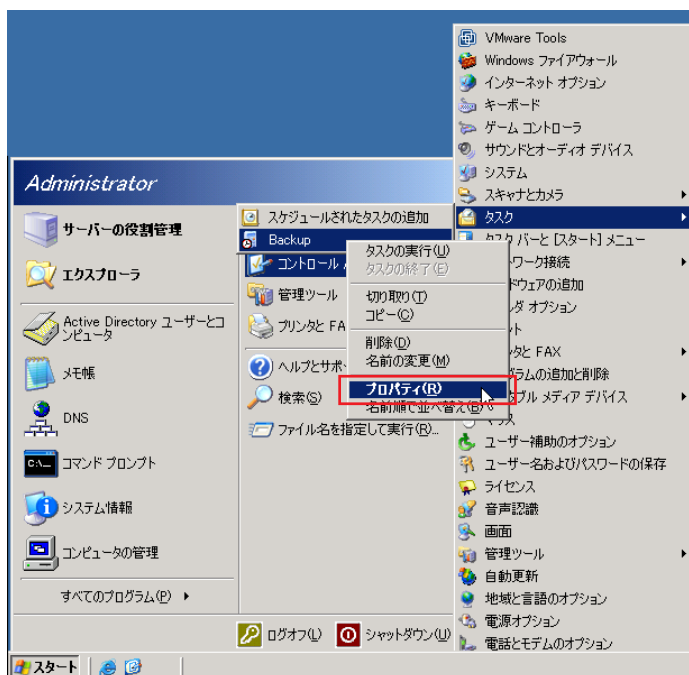
タスクの実行によって作成されたバックアップファイルは「インストール先ディレクトリ¥Zaseki7¥data¥backup」に「Zaseki7\_1.bk」という名前で作成されます。

**バックアップファイルは、バックアップが実行されるたびに上書きされるので、DATやDLT、または別のサーバーに退避してください。**

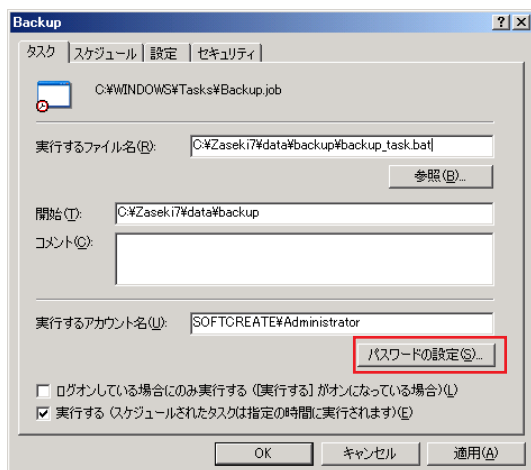
## OSのユーザーパスワードが変更した場合

以下の手順で必ずタスクのパスワードも変更してください。

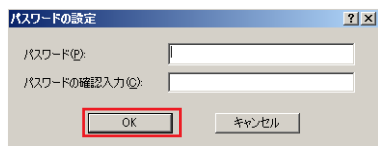
登録したタスク上で右クリックして、プロパティを開きます。



[パスワードの設定] をクリックします。



「パスワードの設定」ダイアログが表示されるので新しいパスワードを入力し [OK] をクリックします。



## 写真データのバックアップ

各ユーザーが従業員情報画面で登録した写真も、バックアップをとることを推奨します。データベースのバックアップと同様、DLTやDAT、または別のサーバーに回避させていただきます。

登録した写真は以下の場所に格納されています。

インストール先ディレクトリ¥Zaseki7¥src¥pictures

## 注意事項

### ユーザーパスワード変更したら

実行するユーザーのパスワード(OSのAdministrator権限のあるユーザーパスワード)を変更した場合、登録したタスクが実行されなくなりますので、別途タスクのパスワード設定が必要になります。登録したタスクのプロパティで変更を行ってください。

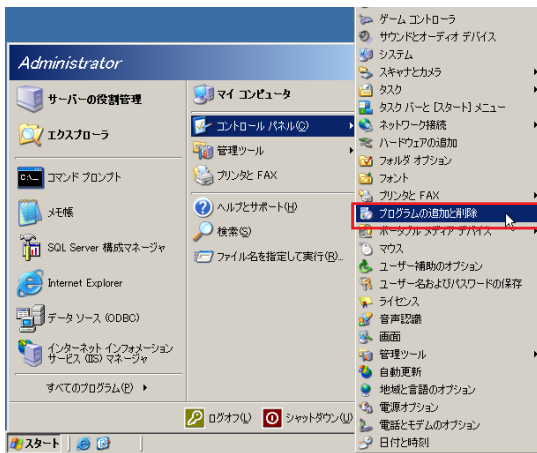
# 3. アンインストール

## A Zaseki7のアンインストール

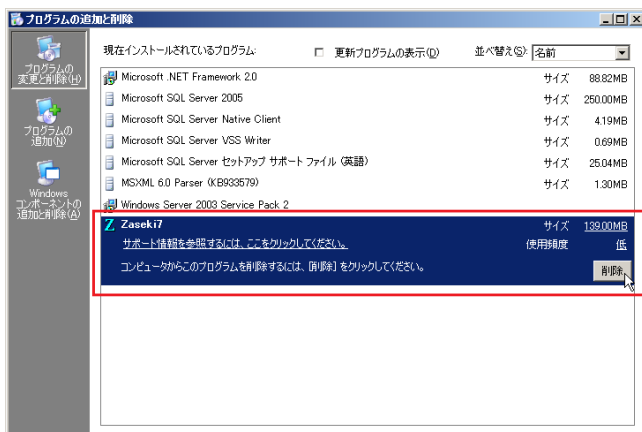
Zaseki7のアンインストールは「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」または「アプリケーションの追加と削除」より行ってください。Zaseki7システムと一緒にインストールされたSQL Server Expressなどは、Zaseki7システムをアンインストールしても残りますので、必要であれば同様にアンインストールをしてください。また、インストールディレクトリも残りますので、完全に削除する場合は手で削除します。

### Zaseki7システムのアンインストール手順

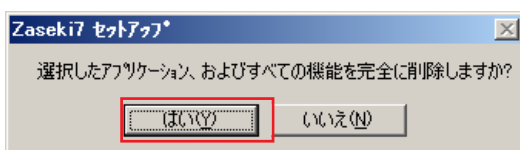
コントロールパネル「プログラムの追加と削除」または「アプリケーションの追加と削除」を開きます。



現在インストールされているプログラムから「Zaseki7」を選択し、[削除]をクリックします。



削除に間違いがなければ[はい]をクリックしてアンインストールを実行します。



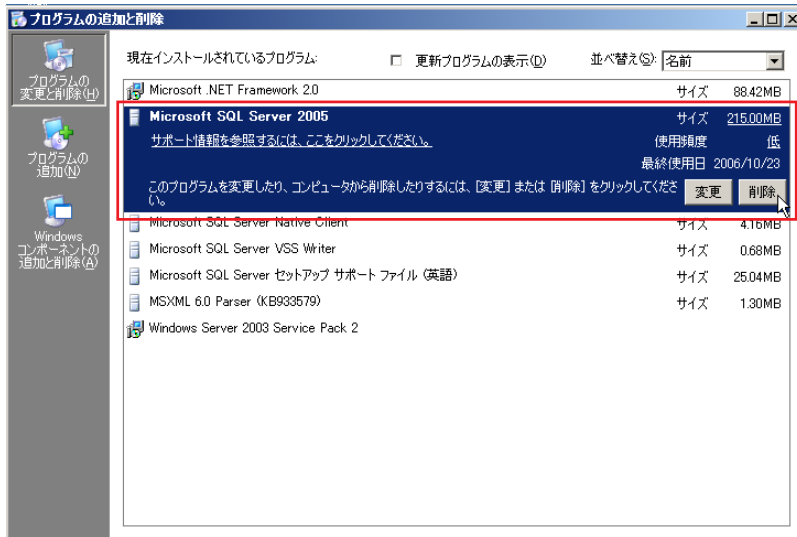
アンインストール実行後、コンピュータの再起動を求められますので、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」にチェックがあることを確認後、[完了]をクリックしてコンピュータを再起動します。

## B SQL Server 2005 Express Editionのアンインストール

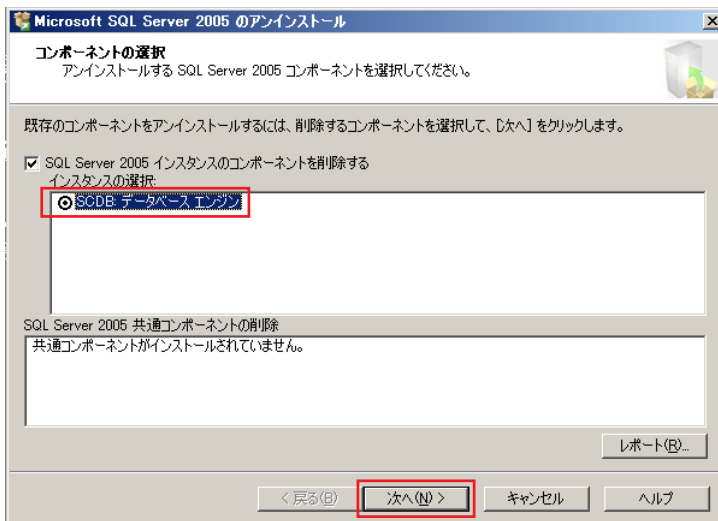
SQL Server Expressを他システムと共有している場合、SQL Server Express内に蓄積された全データが失われることをよくご理解いただいた上で、アンインストールを行ってください。

### SQL Server Expressのアンインストール手順

現在インストールされているプログラムから「Microsoft SQL Server 2005」を選択し、[削除]をクリックします。



「SCDB: データベースエンジン」を選択し、[次へ]をクリックします。



あとは画面の指示通りに行います。

下記のアプリケーションもアンインストールします。

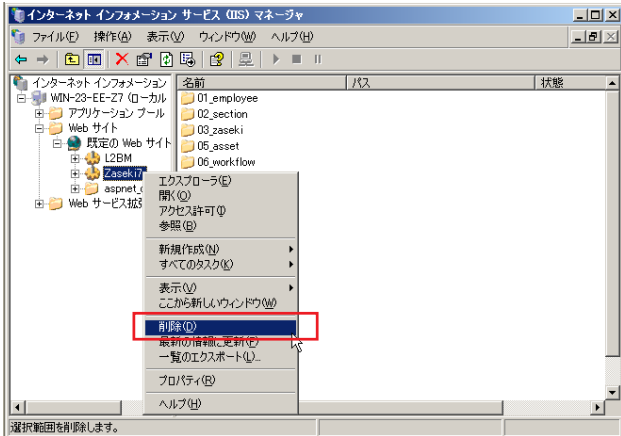
- Microsoft SQL Server Native Client
- Microsoft SQL Server VSS Writer
- Microsoft SQL Server セットアップ サポート ファイル(英語)
- MSXML 6.0 Parser

## C 仮想ディレクトリの削除

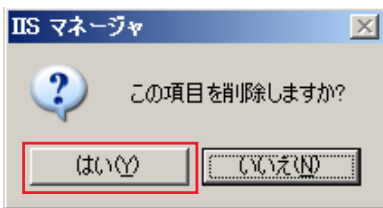
下のようにインストール時に作成されたZaseki7仮想ディレクトリを削除します。

コントロールパネル 管理ツール 「インターネット インフォメーションサービス」を開きます。

「Zaseki7」を右クリックして「削除」をクリックします。



下のようなダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。



### ! 注意事項

#### 仮想ディレクトリの削除

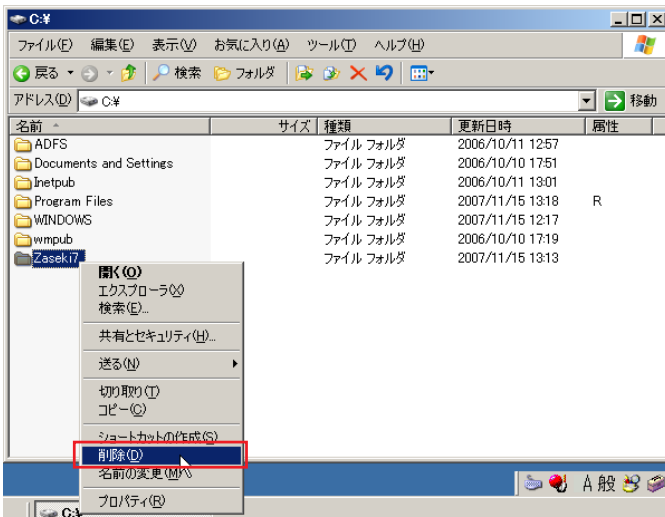
「A. Zaseki7のアンインストール」(P. 16)を行う前にZaseki7仮想ディレクトリを削除してしまうと、「プログラムの追加と削除」からZaseki7のアンインストールができなくなりますので、注意してください。

#### Zaseki7の再インストール

Zaseki7を再インストールする場合に、このZaseki7仮想ディレクトリが残っていると正常にIISの設定ができないことがあります。

## D アンインストール完了後

アンインストール完了後、完全に削除するために手動で削除する必要があるのは、インストール先ディレクトリ¥Zaseki7フォルダです。



### ! 注意事項

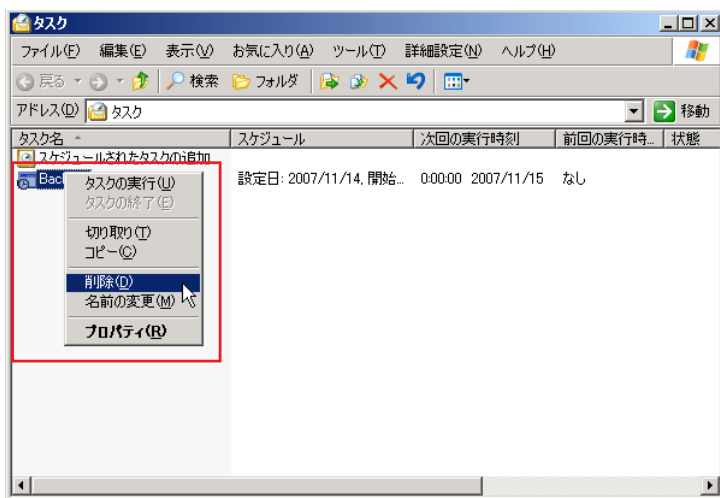
#### Zaseki7フォルダについて

Zaseki7フォルダを削除するためには、以下の作業が完了していなければなりません。

- ・SQL ServerExpressのアンインストール
- ・Zaseki7のアンインストール
- ・アンインストール後のコンピュータの再起動

## E バックアップ設定の解除

登録したタスク上で右クリックして、削除を選択します。



「ファイル削除の確認」ダイアログボックスが表示されますので[はい]をクリックします。

## F 再インストールについて

Zaseki7を再インストールする場合、Zaseki7のアンインストール・仮想ディレクトリの削除を実行しなければ再インストールすることができません。

### ! 注意事項

#### Zaseki7の再インストール

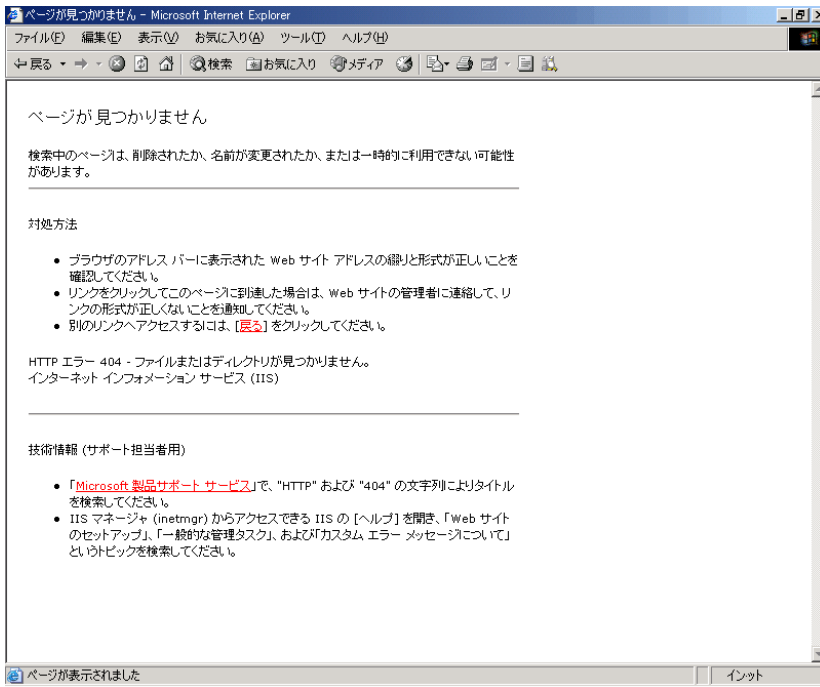
Zaseki7を再インストールする場合に、Zaseki7仮想ディレクトリが残っていると正常にIISの設定ができないことがあります。

# 4. 困ったときは

## A ログイン画面が開かない

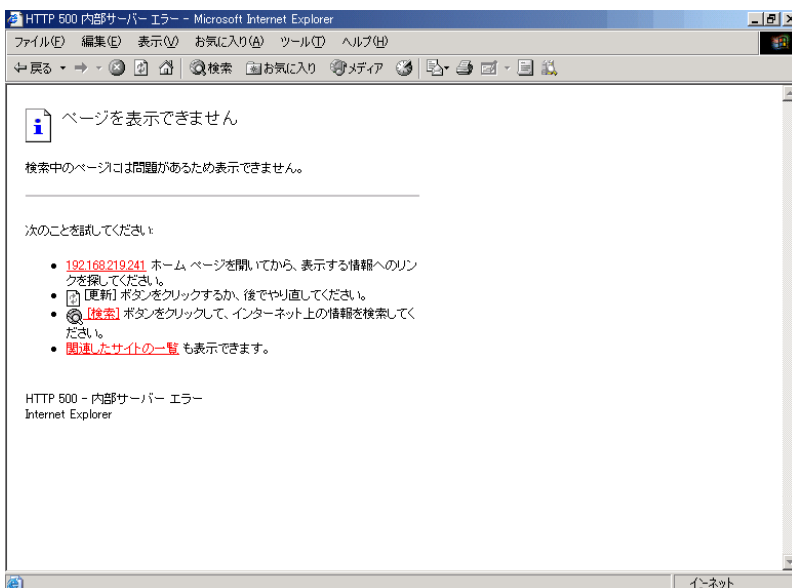
### パターン1

ログイン画面が開かず、下記の画面になるときは  
P.7「Active Server Pagesのインストール手順」の手順を確認してください。



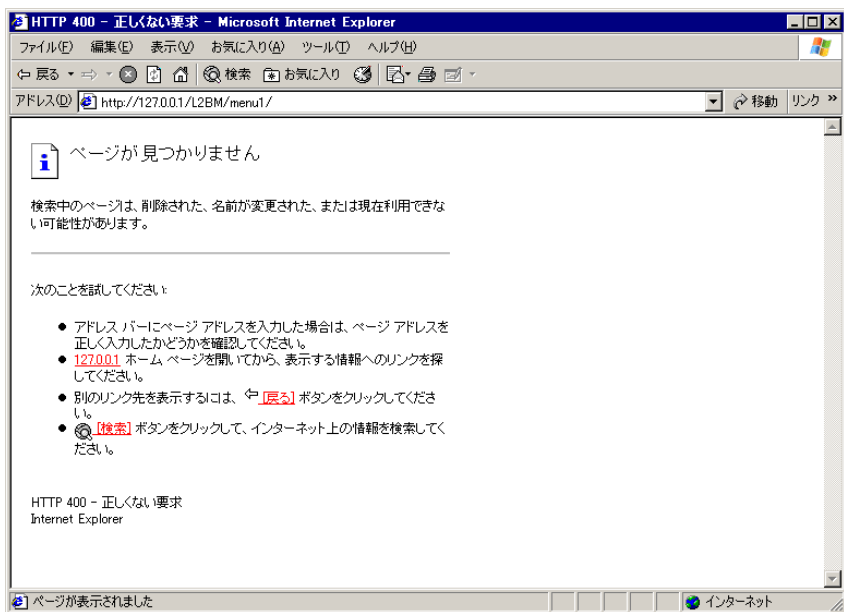
### パターン2

ログイン画面が開かず、下記の画面になるときは  
P.13「アプリケーション構成の設定」の手順を確認してください。



### パターン3

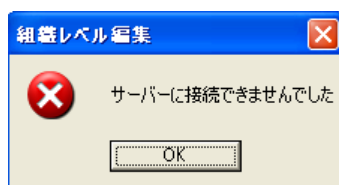
ログイン画面が開かず、下記の画面になるときは  
P.4「注意事項-仮想ディレクトリの作成」を確認してください。



## B 図面や組織階層定義画面が開かない

### パターン1

図面や組織階層画面が開かず、下記のエラーメッセージが表示される場合は、インストール時に設定したIPアドレスが間違っている可能性があります。インストールをやり直してください。



### パターン2

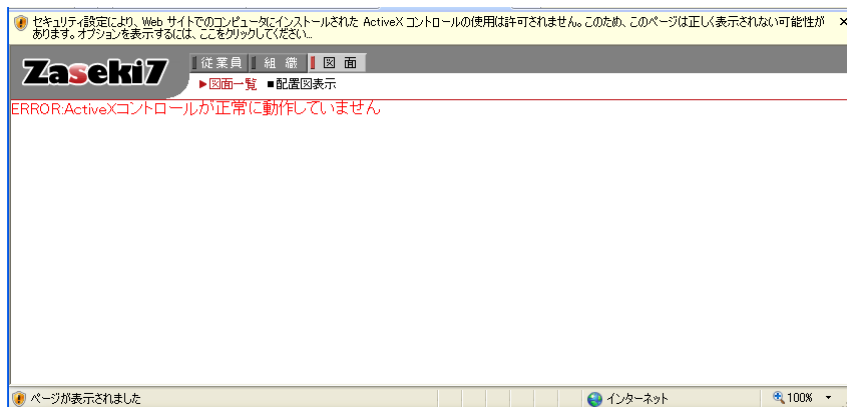
インストールしたパソコンでは開くのに、他のパソコンから接続すると開かない場合、インストール時に設定した「使用ポート」が閉じているか、または使用できない可能性があります。ネットワーク管理者に確認してください。

### パターン3

図面を開くことができず、下のようなメッセージが表示された場合、ActiveXコントロールのダウンロードが許可されていません。

ブラウザのActiveXを利用できる設定にしてください。

- ActiveXコントロールとプラグイン - ActiveXコントロールとプラグインの実行を有効に設定する
- ActiveXコントロールとプラグイン - スクリプトを実行しても安全だとマークされているActiveXコントロールの  
スクリプト実行を有効に設定する
- ActiveXコントロールとプラグイン - 署名済ActiveXコントロールのダウンロードを有効に設定する



---

## Zaseki7 インストールマニュアル Ver.2.8

-Zaseki7セットアップガイド-

発行元 株式会社ソフトクリエイト  
許可なく無断転記を禁ずる。

### 【開発・販売元】

株式会社ソフトクリエイト  
ビジネスアプリケーション事業部

Zaseki7担当

<http://www.softcreate.co.jp/>

<http://www.zaseki7.jp/>